

# 2019年版東洋経済CSR評価項目一覧

項目名・評価得点・ポイント

## ■人材活用

No	評価項目	2019年版 新規	得点	ポイント
1	女性社員比率		3	女性比率が高い方がポイントも高い。
2	世代別女性従業員数		2	各世代の女性従業員数の開示でポイント化、上限あり。
3	離職者状況		2	開示があれば得点あり。
4	年間総労働時間の開示		2	開示があれば得点あり。
5	残業時間・残業手当		3	少ない方がよい。開示があれば得点あり。
6	残業削減の取り組み		3	取り組み、取り組み内容を合わせて見ている。内容は開示があれば差はつかない。
7	30歳平均賃金		3	平均値以上で得点プラス。25万円以上、30万円以上で差がつく。
8	外国人管理職の有無		2	一定人数以上いれば得点。
9	女性管理職比率		3	高い方がよい。
10	女性部長職以上比率		3	高い方がよい。
11	女性役員の有無		2	1人でもいれば得点。
12	ダイバーシティ推進の基本理念		1	基本理念が記載(妥当な内容)されていれば得点。
13	ダイバーシティ尊重の経営方針		1	経営方針が記載(妥当な内容)されていれば得点。
14	多様な人材登用部署		2	専任、設置予定の得点が高い。
15	多様な管理職登用の目標値		2	妥当な目標値が記載されていれば得点。
16	障害者雇用率(実績)		5	高い方がよい。2%は平均的な得点。
17	障害者雇用率の目標値		1	妥当な目標値が記載されていれば得点。
18	65歳までの雇用		2	「全員雇用」が最も得点が高い。
19	LGBTへの対応		2	基本方針、取り組みを合わせて見ている。基本方針は開示があれば差はつかない。
20	有給休暇取得率		5	高い方がよい。
21	産休期間		2	法定以上の方が得点が高い。
22	産休取得者		2	3年間で見ている。
23	育児休業取得者		2	3年間で見ている。
24	男性の育児休業取得者		2	3年間で見ている。
25	男性の育児休業取得率		2	開示得点のみ。
26	配偶者の出産休暇制度		1	制度ありで得点。
27	介護休業取得者		3	単年度の人数、3年間の開示度合いを見ている。
28	看護休暇・介護休暇		3	法定以上の方が得点が高い。
29	退職した社員の再雇用制度		2	「有」の方が得点が高い。
30	ユニークな両立支援制度		2	「有」の方が得点が高い。
31	勤務形態の柔軟化に関する諸制度		5	各諸制度の積み上げで得点化。上限あり。
32	従業員のインセンティブを高めるための諸制度		5	各諸制度の積み上げで得点化。上限あり。
33	労働安全衛生マネジメントシステム		2	「有」の方が得点が高い。
34	労働安全衛生分野の表彰歴		2	表彰事例の回答があれば得点あり。連続で有の方が得点が高い。
35	労働災害度数率		1	一定比率以下で得点。
36	メンタルヘルス休職者数		2	開示得点のみ。数値は見えていない。
37	人権尊重等の方針		2	「有」の方が得点が高い。
38	人権尊重等の取り組み		2	取り組みが記載(妥当な内容)されていれば得点。
39	中核的労働基準を尊重した経営		2	「有」の方が得点が高い。
40	中核的労働基準4分野の対応状況		2	対応分野が多い方が得点が高いが上限あり。
41	従業員の評価基準の公開		2	「公開」の方が得点が高い。
42	能力・評価結果の本人への公開		2	「公開」の方が得点が高い。
43	従業員の満足度調査		2	「行っている」の方が得点が高い。
44	新卒入社者の定着度		4	新卒3年後定着率が高い方が得点が高い。75%以上が目安。
45	発生した労働問題の開示		1	開示があれば得点。
			<b>基礎得点 満点</b>	<b>106</b>

## ■環境

No	評価項目	2019年版 新規	得点	ポイント
1	環境担当部署の有無		3	「専任」が得点は最も高い。
2	環境担当役員の有無		3	「専任」が得点は最も高い。
3	同役員の担当職域		2	「100%」の方が得点は高い。
4	環境方針文書の有無		3	「有」の方が得点は高い。
5	環境会計の有無		3	「有」の方が得点は高い。
6	同会計における費用と効果の把握状況		3	環境省ガイドライン、自社・業界独自いずれも同じ得点。
7	同会計の公開状況		2	「公開」の方が得点は高い。
8	パフォーマンスの開示状況		3	一定以上の開示で満点。
9	環境監査の実施状況		3	実施している方が高い。
10	ISO14001取得体制		3	ISO14001、自社独自いずれも同じ得点。
11	ISO14001取得率(国内・海外)		4	取得率が高い方が得点は高い。自社独自の取得率(把握率)でも可。国内・海外を合わせた評価。
12	グリーン購入体制		2	GNP、自社独自指針いずれも同じ得点。
13	事務用品等のグリーン購入比率		3	80%以上が目安。
14	原材料のグリーン調達		3	実施している方が得点は高い。
15	環境ラベリング		3	「開示」の方が得点は高い。
16	土壌・地下水の汚染状況把握		2	回答があれば一定以上の得点あり。
17	水問題の認識		1	回答があれば得点あり。
18	環境関連法令違反の有無		3	無いほうが得点は高い。未回答はゼロ点。
19	環境問題を引き起こす事故・汚染の有無		3	無いほうが得点は高い。未回答はゼロ点。
20	CO <sub>2</sub> 排出量等削減への中期計画の有無		3	「有」の方が得点は高い。さらに妥当な内容の記載があると高くなる。
21	スコープ3		2	数値回答有で評価。カテゴリーや数値では評価せず。
22	2017年度の環境目標・実績		3	目標・実績回答が重要。自己評価はすべて回答があった場合は得点のプラスはなし。
23	気候変動への対応の取り組み		2	「行っている」の方が得点は高い。回答があれば得点あり。
24	再生可能エネルギーの導入	○	2	「行っている」の方が得点は高い。回答があれば得点あり。
25	環境関連の表彰歴		2	表彰事例の回答があれば得点あり。連続で有の方が得点は高い。
26	環境ビジネスへの取り組み		3	「行っている」の方が得点は高い。回答があれば得点あり。具体的内容の開示でプラス得点。
27	生物多様性保全への取り組み		3	妥当な開示があれば得点。
28	生物多様性保全プロジェクトへの支出額		4	売上規模ごと(3段階)の得点。把握して開示することが重要という認識。
		<b>基礎得点 満点</b>	<b>76</b>	

## ■企業統治

No	評価項目	2019年版 新規	得点	ポイント
1	中長期的な企業価値向上の基礎となる経営理念		2	「有」の方が得点は高い。
2	CSR活動のマテリアリティ設定		3	「有」の方が得点は高い。さらにマテリアリティの内容があればさらに高くなる。
3	ステークホルダー・エンゲージメント		3	「有」の方が得点は高い。さらにエンゲージメントの内容があればさらに高くなる。
4	活動報告の第三者の関与		2	「有」の方が得点は高い。
5	CSR担当部署の有無		3	「専任部署:有」の方が得点は高い。
6	CSR担当役員の有無		3	「専任」が得点は最も高い。
7	同役員の担当職域		2	「100%」の方が高い。
8	CSR方針の文書化の有無		3	「有」の方が得点は高い。
9	IR担当部署		3	「専任部署:有」の方が得点は高い。
10	法令順守関連部署		3	「専任部署:有」の方が得点は高い。
11	国内外のCSR関連基準への参加等		3	件数で得点化だが上限あり。半分以下でも満点になる。
12	内部監査部門の有無		2	「有」の方が得点は高い。
13	内部通報・告発窓口(社内・社外)設置		3	「設置済み」の方が得点は高い。
14	内部通報・告発者の権利保護に関する規定制定		3	「制定済み」の方が得点は高い。
15	内部通報・告発件数の開示		3	数値回答有で評価。2年連続回答有がもつとも得点は高い。
16	公正取引委員会からの排除措置命令等・他		3	無いほうが得点は高い。未回答はゼロ点。
17	不祥事などによる操業・営業停止		3	無いほうが得点は高い。未回答はゼロ点。
18	コンプライアンスに関わる事件・事故での刑事告発		3	無いほうが得点は高い。未回答はゼロ点。
19	海外での価格カルテルによる摘発		3	無いほうが得点は高い。未回答はゼロ点。
20	海外での贈賄による摘発		3	無いほうが得点は高い。未回答はゼロ点。
21	汚職・贈収賄防止の方針		3	「有」の方が得点は高い。内容の開示も得点化。
22	政治献金等の開示		3	数値回答有で評価。3年連続回答有がもつとも得点は高い。
23	内部統制委員会の設置		1	「設置済み」で得点あり。
24	内部統制の評価		4	「有効」がもつとも高い評価。未上場は一定得点。
25	相談役・顧問制度の状況についての開示		2	開示があれば得点あり。
26	情報システムに関するセキュリティポリシーの有無		2	「策定済み」の方が得点は高い。
27	情報システムのセキュリティに関する内部監査の状況		2	「定期的実施」の方が得点は高い。
28	情報システムのセキュリティに関する外部監査の状況		2	「定期的実施」の方が得点は高い。
29	プライバシー・ポリシーの有無		1	「制定済み」で得点有。
30	リスクマネジメント・クライシスマネジメントの体制		2	「有」の方が得点は高い。
31	リスクマネジメント・クライシスマネジメントに関する基本方針		2	「有」の方が得点は高い。
32	リスクマネジメント・クライシスマネジメントに関する対応マニュアルの有無		3	「有」の方が得点は高い。
33	リスクマネジメント・クライシスマネジメント体制の責任者		2	「代表者」「代表者に準ずる取締役等」がもつとも得点は高い。
34	BCM構築		2	「有」の方が得点は高い。
35	BCP策定		2	「有」の方が得点は高い。
36	リスクマネジメント・クライシスマネジメントの取り組み状況		2	回答があれば得点あり。
37	企業倫理方針の文書化・公開		3	「文書化・公開」の方が得点は高い。
38	倫理行動規定・規範・マニュアルの有無		2	「有」の方が得点は高い。
		基礎得点 満点	96	

## ■社会性

No	評価項目	2019年版 新規	得点	ポイント
1	消費者対応部署の有無		3	「専任部署:有」の方が得点は高い。
2	社会貢献担当部署の有無		3	「専任部署:有」の方が得点は高い。
3	商品・サービスの安全性・安全体制に関する部署の有無		3	「専任部署:有」の方が得点は高い。
4	社会貢献活動支出額		5	規模別の3年間の合計額で得点化。
5	NPO・NGO等との連携		4	「有」の方が得点は高い。
6	ESG情報の開示		3	「有」の方が得点は高い。
7	投資家・ESG機関との対話		3	「行っている」の方が得点は高い。
8	SRIインデックス・SRIファンド・エコファンド等への組み入れ状況		3	件数で得点化だが上限あり。半分以下でも満点になる。
9	消費者からのクレーム等への対応マニュアルの有無		2	「有」の方が得点は高い。
10	同クレームのデータベースの有無		2	「有」の方が得点は高い。
11	ISO9000Sの取得状況(国内・海外)		3	取得率が高い方が得点は高い。自社独自の取得率(把握率)でも可。国内・海外を合わせた評価。
12	ISO9000S以外の品質管理体制		3	内容の記載があればさらに得点。
13	地域社会参加活動実績		3	妥当な開示があれば得点。
14	教育・学術支援活動実績		3	妥当な開示があれば得点。
15	文化・芸術・スポーツ活動実績		3	妥当な開示があれば得点。
16	国際交流活動実績		3	妥当な開示があれば得点。
17	CSR調達の実施	○	2	「行っている」の方が得点は高い。
18	CSR調達への取り組み事例		3	妥当な開示があれば得点。
19	取引先に対する基本方針	○	2	「有」の方が得点は高い。
20	紛争鉱物の対応		2	「対応している」の方が得点は高い。
21	ボランティア休暇		3	取得者がいる方が評価は高い。さらに一定人数以上でプラス評価。
22	ボランティア休職・青年海外協力隊参加		4	取得者がいる方が評価は高い。さらに一定人数以上でプラス評価。
23	マッチング・ギフト		2	「有」の方が得点は高い。
24	SDGsの目標とターゲット		1	開示があれば得点。
25	CSVの取り組み		2	「行っている」の方が得点は高い。
26	BOPビジネスの取り組み		3	「行っている」の方が得点は高い。具体的な取り組み(CSVを含む)記載があれば得点をプラス。
27	海外での課題解決の活動		2	妥当な開示があれば得点。
28	プロボノ支援		2	「行っている」の方が得点は高い。
29	CSR関連の表彰歴		2	表彰事例の回答があれば得点あり。連続で有の方が得点は高い。
30	東日本大震災等の復興支援		4	「行っている」の方が得点は高い。他の復興支援でさらに得点プラス。
		基礎得点 満点	83	